

2023 年度臨床研究 Award の受賞者決定について

会員 各位

周産期臨床研究コンソーシアム委員会
委員長 齋藤 滋
副委員長 和田誠司
早川昌弘

周産期臨床研究コンソーシアム委員会では、「2023 年度日本周産期・新生児医学会臨床研究 Award」の応募を行い、18 題の臨床研究の応募がありました。多くの応募に感謝申し上げます。

委員会において、臨床研究（特定臨床研究または医師主導治験）の研究企画であることと、多施設共同前方視的疾患レジストリの研究企画であることを評価の主眼とし、外部の臨床研究の専門家による意見も参考とさせていただき、委員及び幹事による一次評価、一次評価を基にした委員長と副委員長による二次評価を行いました。更に、二次評価結果について理事会で審議した結果、下記 3 課題を 2023 年度臨床研究 Award として採択しましたので、ご報告いたします。

【採択された臨床研究】

1. 田中 博明（三重大学 産科婦人科）
分娩中の母体に対するタダラフィル投与の有効性に関する臨床試験
2. 神澤 孝洋（名古屋大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター）
機械学習による「新生児慢性肺疾患生後早期予測モデル」作成のための多施設共同前方視的疾患レジストリの作成
3. 藤本 健志（埼玉医科大学総合医療センター 小児科）
慢性肺疾患(BPD)のリスクを有する在胎 32 週未満の早産児に対する一酸化窒素吸入療法(iNO)の有効性に関する第 2 相臨床試験

若手医師の臨床研究の立ち上げを支援することにより、周産期領域の新たなエビデンスの確立や新規診断法等に繋がっていくことを期待しております。本 Award は、毎年募集しますので、会員の皆様からの多くの応募をお待ちしております。